

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
連携	市川学B	オムニバス	後期・秋学期	選択	講義	2

〔授業のねらい〕

大学コンソーシアム市川に参加する5大学の共同開発による授業。
市川市は都市化されてはいるが、地域により豊かな自然環境が残され、多様な生物が生息している。本科目では、市川の自然や環境問題を理解し、「地域つながり力」を持つための方法を学ぶ。
市川市の理解を深めるためには、市川学A～Dを全て履修することが望ましい。

〔学修成果(達成目標)及び成績評価の方法〕

学修成果(達成目標)；

課題をまとめ、自らの考えを述べられる。
自らの置かれた地域社会についてさまざまなことを知る。

成績評価の方法；

レポート80% 学習内容を的確にまとめ、論理的に自分の考察を述べているか。
受講態度20% 各講座の課題を期限内に提出する。

〔教科書・参考書〕

教科書： なし

参考書：

〔その他〕

授業の会場が常に変わるので、学内掲示等で確認しておくこと。

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕
1 市川の水文環境 千葉商科大学商経学部教授 杉田 文	事前学習： 市川市の水文環境について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
2 じゅんさい池緑地の自然 ※フィールドワーク 千葉商科大学商経学部教授 杉田 文	事前学習： じゅんさい池緑地の自然について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
3 市川と環境問題 千葉商科大学政策情報学部准教授 杉本 卓也	事前学習： 市川市の環境問題について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
4 市川と環境問題 千葉商科大学政策情報学部准教授 杉本 卓也	事前学習： 市川市の環境問題について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
5 市川の地形と文化 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量	事前学習： 市川市の地形と文化について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
6 市川の動植物 市川市 生活環境整備課 自然環境政策専門員 鈴木 弘行 市川市 生活環境整備課副主幹 金森 晃	事前学習： 市川市の動植物（特に野鳥）について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
7 市川の動植物～大町公園の自然～ 市川市自然博物館 学芸員 金子 謙一	事前学習： 市川市の動植物（特に自然）について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
8 市川の地形と災害 千葉商科大学人間社会学部教授 吉竹 弘行	事前学習： 市川市の地形と災害について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
9 市川の地形と災害 千葉商科大学人間社会学部教授 吉竹 弘行	事前学習： 市川市の地形と災害について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
10 「エコキャンパス」について 千葉商科大学 施設環境課 近藤 良介	事前学習： 千葉商科大学の環境への取組について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
11 現地踏査～(株)ハイパーサイクルシステムズ～ 企業担当者、千葉商科大学商経学部准教授 大平 進	事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
12 現地踏査～(株)ハイパーサイクルシステムズ～ 企業担当者、千葉商科大学商経学部准教授 大平 進	事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる
13 現地踏査～大町自然観察園～ 学芸員、千葉商科大学商経学部准教授 大平 進	事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる
14 現地踏査～市川市自然博物館～ 学芸員、千葉商科大学商経学部准教授 大平 進	事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる
15 現地踏査～里見公園・国府台緑地～ 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量	事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる